



2015年認定

世界農業遺産認定地域紹介



岐阜

清流長良川の鮎～里川における人と鮎のつながり～

岐阜県長良川上中流域

人の生活、水環境、漁業資源が連環

岐阜県を流れる長良川は、漁業者や市民団体による水源林の育成や河川の清掃など、人が適切に管理することで、資源を保全するとともに良好な環境を生み出し、清流に育まれた漁業、農業、林業などの産業が発達している「里川」です。なかでも、鮎を中心とした内水面漁業が盛んで、鵜飼漁をはじめとした伝統的な漁法が数多く受け継がれ、鮎を使った郷土料理も食文化として根付いています。

また、清流が保たれることにより、美濃和紙や郡上本染などの水と密接なつながりのある伝統工芸が引き継がれ、長良川の持続的なシステムを育んでいます。



清流 長良川



清流に生息する鮎



【鵜飼】

鳥の鵜を使って漁をする長良川の鵜飼は、1300年前から行われている伝統的な漁法です。

